



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 見上一幸

仙台市青葉区国分町三丁目1-1
(仙台第一生命ビル 5階)

電話 022-224-2581
FAX 022-302-3406

新たなユネスコ活動を目指して

新型コロナウイルスは日本国内はもちろん世界中で感染者が多数発生し想像以上に感染被害が広がっております。未知のウイルスということで収束にはもう少し時間がかかりそうです。しかし、宮城県でもワクチン接種が始まりコロナウイルスの収束に向けて、少しずつでも良い方向に進んでいくことを期待しております。その中で、当協会でも多くの方々と直接交流する際には、各委員会活動も感染対策を講じながら活動に取り組んでいるところであります。

コロナ禍での活動はデメリットばかり語られがちですが、よく考えるとそれは一時的なもので、失われたものもありますが、それよりも得るものも多いかと考えた方がよいと思われます。現在の事務所に移転してはや1年が経ちました。当初は新たな活動拠点でどのような活動が出来るかどうか不透明でありましたがIT活用を促進しZoomなどによるリモート会議や講座は今回のコロナ禍がなければ普及しなかったはずです。その中で、内藤副会長が中心となり新しい形での公益事業・少人数での「SALON&ZOOM講座」をスタートし昨年度は11回開催をいたしました。今年度も引き続き

各分野の方をお招きして開催する
予定でありますのでお楽しみくだ
さい。

また、世界や地域の課題解決に資するユネスコ活動の活性化に向けて、ユネスコ活動に関心や実績を持つ関係者とSDGsの実現に向けた取組等を進める人々・団体と連携協働によってパートナーシップのネットワークを広げることを目指し、昨年度は文部科学省の「ユネスコ未来共創プラットフォーム」事業を受託しました。本年度も継続受託を申請し取り組みますので皆さまに改めてご報告いたします。

そして、今年度は日本がユネスコに加盟して70周年を迎えます。この機会に、改めてユネスコの理念とユネスコ活動について理解を深め、会員の皆さん方が参加できる機会を広げてまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



副会長
松坂宏造

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

今年も継続します！

「ユネスコ未来共創プラットフォーム事業」

《海外展開を行う草の根のユネスコ活動》

昨年度は「キリバス国内関係者へのヒアリング」やケンタロ・オノ氏による「キリバス理解研修会」を通して、同国への理解が深まり、抱える課題に対して「民間ユネスコ協会」が有効に機能するであろうニーズを確認することができました。

今年度は「協会立ち上げの支援準備」を進めます。事業受託を見込んで（申請中）の活動計画をお知らせします。



▲青空市場？おおらかさが伝わります



▲キリバスと言えば…
キレッキレのダンス！

1. テーマ	「キリバス民間ユネスコ協会設立支援準備プロジェクト」
2. 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・キリバス国内における「民間ユネスコ協会」の具体的なシーズ確認 ・同国ユネスコ協会設立支援に向けた「合意形成および中長期事業計画の策定」 ・事業計画をもとに市民レベルでの文化交流実施 ・民間ユネスコ活動を分かり易く伝える動画制作・配信 ・ユネスコスクールを中心とした教員・児童生徒間のオンライン交流（宮城教育大学附属小学校、気仙沼市立鹿折小学校は決定済） ・2020年度作成の小学校学習プログラムをキリバスモデルとして広報 ・学習プログラム作成を他校種（中学校、高等学校）に拡大 ・（可能であれば）キリバスへ渡航、「キリバス民間ユネスコ協会」設立に向けた「設立準備会」立ち上げ

(内藤恵子 記)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年（昭和22年）7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

第78回 通常総会 を開催しました

=2021年5月28日=



2021年5月28日(金) 午前10時から会員総数263名の内174名(委任状を含む)が出席の下、昨年同様感染予防措置を講じ、仙台第一生命ビルの6階会議室にて第78回通常総会が開催されました。初めに「2020年度事業報告ならびに決算報告」「2020年度監査報告」が上程され異議なく承認されました。また「2021年度事業計画及び予算」が上程され、これも異議なく承認されました。次いで審議事項として「理事・監事の選任」が上程され、議長の提案通り承認されました。

総会終了後、引き続き2021年度第2回理事会が開催され、「会長・副会長・専務理事の選定及び事務局長の選任」が審議されました。その結果、専務理事と事務局長、若干名の理事・参与が交代いたしました。(詳細は役員名簿をご覧ください)

今年度も昨年から取り組んでいるSALON&ZOOM講座を活用して、SDGs推進に努めたいと考えております。コロナ感染が収束していない状況のため事業・行事の中止や変更の可能性もありますが創意工夫をして実りある活動につなげたいと考えております。

2021年度役員名簿

役 職	氏 名	役 職	氏 名	役 職	氏 名	
会 長	見上 一幸	理 事	原 一代	参 与	佐藤 芳朗	
副会長	松坂 宏造		三浦 晴信		齋藤 哲子	
	内藤 恵子		村井 えみ子		鈴木 弘二	
	西條 清和		熊谷 真人		鈴木 幸子	
専務理事	赤塚 吉雄	監 事	佐藤 鉄二		高橋 教義	
事務局長	針生 真由美		千葉 雅保		千田 稔	
理 事	阿部 さか江		参 与		五十嵐 梨絵子	富田 義雄
	安藤 伸子				池田 百恵	仲 海渡
	市瀬 智紀	砂金 みどり			中嶋 眞佐子	
	伊藤 律子	石原 那穂子			橋本 英子	
	岩山 浩一	菊地 伊津子			早川 麻由利	
	奥村 静剛	菊池 健一			林 健一	
	神坂 旭	國分 公正		前田 ひろ子		
	川村 洋子	小林 拓世		松谷 一夫		
	小泉 知加子	佐浦 公美		2021年5月28日		
	須佐 凉子	佐藤 皇季			理事・監事・参与は五十音順	
	鈴木 かつら	佐藤 信				

「SALON&ZOOM講座 第11回報告」

コロナ禍でスタートしたSALON&ZOOM講座の2020年度最終回は、2月27日、「みんなで生きいき音楽療法」をテーマに開催しました。自粛生活が続く中、多くの方がストレスをため込み、心身共に疲労しているのではないのでしょうか。古来より医療との関係が深く、様々な場面で生活の中に存在している音楽の力を借りて心の安定を図ろうとの趣旨に賛同、SALON参加14名、ZOOM参加6名の計20名の方に参加いただきました。

みんなで生きいき音楽療法

■ 講師 須佐 凉子 氏

2021年2月27日

講師は、会員の須佐凉子さん。日本音楽療法学会代議員、宮城音楽療法研究会代表を務め、障害児者施設や特別支援学校、高齢者施設、仙台オープン病院緩和ケア病棟で終末期音楽療法を実践している第一人者です。様々な珍しい楽器と巧みな話術に引き込まれ、いつしか皆の顔もほころび、マスクの中で口を大きく開けて？久しぶりの歌を楽しみました。



▲講師の須佐さん、参加者を引き込む配慮と工夫が随所に



▲楽器を持つと気分も上がります♪

～ ユネスコ会員企業紹介 1 ～

【SDGsへの取り組み】・・・JR東日本東北総合サービス株式会社



▲「仙臺驛政宗」は生産者・製造者・販売者が連携して取り組んでいる



▲東北6県産直市（上野駅）



▲ tekuteながまち2（長町駅）

JR東日本東北総合サービスは、東北6県の駅を起点に店舗・商業施設の開発運営や駅業務運営等の幅広い事業を展開しています。〈暮らすしあわせ〉と〈訪れるよろこび〉を実感できる東北づくりに貢献することを目指す企業として、SDGsの達成に向けた活動も積極的に推進しており、特に「地方創生・まちづくり」「環境」「ダイバーシティ」の3点に力を入れて取り組んでいます。

まず、「地方創生・まちづくり」では、6次化商品の開発・販売を推進しており、仙台駅等で限定販売している、仙台の水と米を使用して仙台の酒蔵が造った仙台づくしの地酒「仙臺驛政宗」は、昨年10周年を迎えました。また、首都圏エキナカで地産品販売を行う産直市等による東北の魅力発信にも取り組んでいます。さらに、昨年7月の地方自治体や地元企業と連携

した「とおの結屋」（岩手県遠野駅）、今年3月の「tekuteながまち2」（長町駅）、4月の「tekuteせんだい」（仙台駅）等の店舗・商業施設の開発により、駅の利便性を高めて賑わいを創出すること地域活性化やまちづくりに取り組んでいます。

次に、「環境」では、プラスチック削減による地球環境保護のため、バイオマスレジ袋や生分解性ストローの導入、マイバックの推奨等を実施しています。また、来年のJR東日本グループ等による仙台市内での食品リサイクル・バイオガス発電施設の稼働にあわせ、今後は食品リサイクルの取組みも加速していきます。

最後に、「ダイバーシティ」では、昨年4月に「ダイバーシティ&インクルージョン宣言2022」を策定しました。

また、テレワークの推進や、「みやぎ働き方改革実践企業」の認証を受ける等、多様な人材が活躍できる職場風土づくりにも取り組んでいます。

当社は今後も、「駅を起点としてお客さまに喜んでいただけるサービスを提供し、地域の発展に貢献することで、魅力ある企業であり続ける」という企業理念のもと、SDGsの達成に向けて取り組んでまいります。

～ ユネスコ会員企業紹介 2 ～

【社会・地域貢献への取り組み】・・・株式会社サンベンディング東北



▲ with FOOD 機

株式会社サン・ベンディング東北は東日本を中心に北海道から北陸までグループ各社を含め24の拠点で自動販売機（以後、自販機）のオペレーターとして3万2千台の自販機を展開しております。その殆どが「with DRINK」ブランドの清涼飲料水販売の自販機になります。

10年前の大震災では他社に先駆けいち早く商品供給に努め、沿岸部のお客様からは大変感謝されました。コンビニやスーパーから商品が消える中で自販機がライフラインとして市民権を得た出来事があった大震災だったと思います。

平時は何気ない風景として夜間照明の役割をしている自販機ですが災害時のライフラインの他に社会貢献している一端を次に紹介したいと思います。

ひとつは住所ステッカーが貼付されているということです。事故や事件に遭遇した場合の緊急時通報や道に迷った時などの住所確認に役立ちます。災害時に無料で飲料水を提供できる機能を備えた地域貢献型の機種も導入され始めました。

また、弊社独自の取組みですが、募金型自販機を導入し「SENDAI光のページェント実行委員会」や「柴田町さくらの会」、「柴田町社会福祉協議会」などに微力ながら売上の一部を寄付させていただいております。

誰でも使いやすいユニバーサルデザインの自販機は昨今のコロナ禍で非対面販売の特性から様々な業種から注目を集めております。清涼飲料水販売が主だった自販機にもダイバーシティの要素が求められているのかもしれません。

弊社では昨年より食料品の販売を目的とした新しいブランド「with FOOD」を立ち上げ城南高校の生徒さんがデザインした自販機を市内とその周辺に展開しております。

自販機の可能性を追求すること、社会や地域への貢献に取り組むこと、そして日本が誇る自販機文化の育成に寄与することは弊社に課せられたミッションだと思っています。



▲ 光のページェント



▲ 福祉協議会

青年部
だより

SALON&ZOOM講座報告

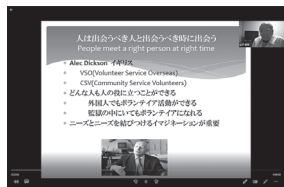
4/24 2021年度第1回講座

5/13 2020年度最終回「ベルガモ大学大学院生との青年部交流」

青年部は活動の殆どをZOOMで行っています。活動の様子はホームページで紹介していますが、この紙面では2021年度第1回講座、青年部のベルガモ大学大学院生との交流会(2020年度最終回)を紹介します。



▲ 講師の山下邦明氏、後ろにマイケル・ジャクソンとの2ショットの写真が見えます



▲ 若者に伝えたいメッセージをたくさんいただきました

Zoomでのミーティングを中心とした活動を継続しておこなっています。その中でも4月24日(土)には山下邦明さんを講師としてお招きし、ユネスコ精神についてや山下さんの活動してきた思いなどお話をいただきました。Zoom以外の活動が難しく、イベントが開催できず薄れ始めていたユネスコへの思いを、改めてユネスコを学ぶことで、青年部で共有・再統一できたと感じています。

また、SNSでの新会員の募集に向けた投稿も継続していますので、是非覗いてみてください。

(青年部 池田百恵 記)

ベルガモ大学の学生さんとのZoom交流会は、今年度は最後となりました。

今回は4名程度の班に分かれ、日本・イタリア両国の料理やお祭り、その他文化、行ってみたい町など、様々な話題でお話をしました。私のグループでは、イタリア語を勉強している私と日本語を勉強している学生さんの間で、言語の話で盛り上がりました。お互いの言語のいいところ・好きなところを語り合い、その良さを共有するとともに、母国の素晴らしさを再認識する機会になり、日本語話者としてとても誇らしい気持ちになりました。

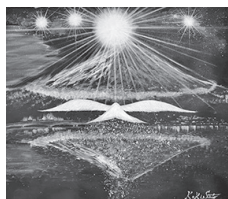
直接の交流は出来ませんが、今だからこそZoomで気軽な交流ができるのだと思います。いつか直接会える日が来ることを願いながら、今後も交流を続けていけたらと思っています。

(青年部 川名里沙 記)



◀ 27名参加したMeeting、表情からも打ち解けている様子が覗えます

会員紹介 画家 佐藤 皇季 さん



2019年10月、フランス・パリにて総務省・国土交通省日本文化発信事業「Japan Moment」公式プログラム『佐藤皇季展』開催。2020年8月東京都「西山美術館」個展開催。2021年4月16日～21日、日本とシン

ガポール文化交流事業「JAPAN TIDE」ザ・フラトン・ホテルシンガポールにて『佐藤皇季展』開催。2022年度イギリス・ロンドンにて『英国王立マルギャラリー』展示。2022年4月東京『上野の森美術館』『佐藤皇季展』開催予定。

- 完全予約制『佐藤皇季アートギャラリー』主宰
- お問い合わせEmail: takanori.s@ab.auone-net.jp
- ホームページ: <https://sato-koki.com/>

『書きそんじハガキ・キャンペーン2021』
へのご協力ありがとうございました!

コロナ禍ではありましたが、往復はがきも含め総計1264枚の書きそんじハガキが集まりました。これらのはがきは67,453円分の切手に交換して日本ユネスコ協会に寄贈することができました。

今後の世界寺子屋運動の基金として東南アジアの国々への支援に使われる計画です。この度の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。

また、毎年ご協力くださる企業様や団体様、会員の皆様にも改めて御礼申し上げます。



・・・これからの行事と催事・・・

■ 「民間ユネスコ運動の日」

日時: 7月10日(土) PM2:00～

場所: 仙台福祉プラザ2F

講演: 「防災サイエンスショーとエネルギー」

講師: サイエンスインストラクター 阿部清人氏

“11枚の書きそんじハガキでひとりがひと月学校に”
ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

書きそんじの郵便ハガキをご寄付ください。送れなかった63円ハガキは1枚につき58円の募金に替えることができ、11枚あつまれば、カンボジアではひとりがひと月学校に通えます。ユネスコ世界寺子屋運動にご協力ください。

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口) 年会費	20,000円
個人会員(一口) 年会費	5,000円
青年部会員(一口) 年会費	2,000円

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	85
個人会員	154
青年部会員	18
合計	257

(2021年5月末現在)

【編集後記】 仙台ユネスコ会報466号をお届けします。

2月から5月までの活動報告をまとめました。

5月に第78回通常総会が開催され、新役員が選任されました。仙台ユネスコ協会は一人ひとりが思いやりの活動をしています。お仲間に加わって一緒に活動しませんか?

(仙台ユネスコ会報編集長 小泉 知加子)